

平成29年度 第3回 海老名市社会教育委員会議内容

日時：平成29年11月28日（火）
13：30～15：30
場所：海老名市役所3階 政策審議室

【出席者】

委員	植松慶子、梅田眞司、栗山明郎、櫻井篤、三部雅世、塩地ひとみ、 多久島勲、前野佳三、森田壽、山田信江
事務局	伊藤教育長、岡田部長、金指次長、小林課長、西海主幹、古賀主査、 谷田主事
指定管理者	高橋、山本、椎名、松田

【議事】

(1) 海老名市立図書館について 指定管理者より運営状況等説明

①中央図書館について 指定管理者より説明

委員：開館待ちの行列について。西側入口は、東側からの入場が済み次第の開錠となっている。同時に開けるようにして、西側入り口にも並んで頂けば、西側入り口の行列が減るのではないか。

指定管理者：検討する。しかし、開館時の入り口が複数あると安全管理の面が心配になる。また、席に関して、「私の方が先に図書館に来て並んでいたのに、後から来てあちら側に並んだ人が早く席をとってしまった。」と、お客様同士のトラブルになりかねないので、入り口は一か所にして整列して頂いている。

委員：マナーの向上について。図書館に限らず、色々なところでマナーの問題やルールの問題がある。図書館もリニューアル後、非常に利用者が増えている。更に今後、駅前のマンション開発により人が増えることが見込まれている。もともと海老名在住の方が入居するのではなく、他市からの入居が多いだろう。そのとき、マナーも含めて事故のないように、みんなが図書館に行きたいという気持ちをもてるように色々なことを考えて頂きたい。

指定管理者：ルール・マナー面では、最近のショッキングな事例として、60代後半男性が館内でiPad端末を用い無修正アダルトの閲覧をしているのを発見し、声がけを行ったことが挙げられる。そういう方の利用制限について何らかの処置を検討しなければならない。色々な方が来ていただいても大丈夫というのが図書館であるので、対策を講じていかなければいけないと思っている。

委員：難しい問題。色々な事件も多いので、その辺も含めてマナーやルールについて講じていってほしい。

委員：アダルトの件ですが、館内のWi-Fiを用いられている場合は、ネットワークでフィルタリングすることが可能ではないか。

指定管理者：すぐに検討する。

委員：席が満杯になって席がない人はどういうところにいられるのか。外側のところか。

指定管理者：テラス席にいられる方もいる。週末や試験前の込み合う時期は時間交代制の席を案内している。3階テラス席は、天気の良い時などは高校生グループが勉強されている様子も見られる。

委員：私も市民として使わせていただいている。図書館が、市民のライフスタイルのデザインという視点で新しい取り組みとなっていることが良い点と評価している。利用者の集計に関して気づいたのだが、滞在時間の推移が駐車場の入退出時間で算出されているようだが、もっと具体的な数字にしたほうが良い。データの根拠としては、もう少し精度をあげるために、もうちょっと違う数をもってくるというのを検討してはどうか。あと、エリアごとの滞在時間にあわせて、利用者の動線調査ができれば、スターバックスコーヒーの利用で滞在しているとか、図書の閲覧で滞在しているとか、可視化できるようにしておいた方が、次の建設的な議論につながるのではないかと感じた。アンケートについては、利用者数の年齢ごとの分布も集計しているのか。

指定管理者：集計している。クロス集計していて、今回の資料には掲載していないが、学生とそれ以外に分けると全く違う答えがでてくる。学生は座席数を増やしてもらいたいという意見が多く、一方で年配の人は探しやすくしてほしい、というように。図書の検索・分類については入会時にご説明しているが、ある一定年齢層の方にはよりしっかり説明していく必要がある。

委員：分け方の周知について、私個人としては、分類法がなじめなくて、独自の施策として進められていることは分かるのですが、市民に対する徹底というわりには理解が進んでいないのではないかなと感じている。メリットをもう少し示して説明できるようにしていただきたい。何故ライフスタイル分類に徹底するのか改めて聞きたい。

指定管理者：一番は、今まであまり図書館を使っていなかった方に出来るだけ直感的に分かりやすく表現するため。日本十進分類法では、例えば、「チーズ」は「産業」の棚に配架で、「ワイン」は「技術」の棚に配架される。そこを「ワイン」と「チーズ」は日々の生活の中で探すならば近くにあった方が良からうという考え方でライフスタイル分類がスタートした。記述的、調査研究に伴うような本というのは十進法が長けていると思うが、一方で、旅行、料理、趣味という世界のものに関しては、より書店に近い分類をした方が良いのではないかと。

アンケートに関し悲しいのは、「どっちでも良い」と答えている方が分類についてはかなり多いこと。だいたい「良い」と「どちらでも良い」が40%~50%、残りの10数%の方が「従来の方が良い」ということ。使われる方のことをしっかりと見据えて考えていきたい。ライフスタ

イル分類によって、日々の生活の中でほとんど今まで図書館を使っていなかった人が、「今日、料理何を作ろうかな」と悩んだときに書架の前に行って「男の料理」という分類があって「これを作ってみようかな」という発見性を高めたいというのが思いの源泉。

委員：市民に周知していく上で、分類の根拠となるものを市民に配布というか、気軽に見られるようにしたりとかするべきではないか。

指定管理：配布を既に行っている。

委員：私の認識不足だった。申し訳ない。もう一つ、キッズエリアに関して。私自身は4歳と2歳の子どもがいて、日々活用させていただいている。キッズエリアは子ども中心のデザインですが、本を探すにしてもひらがなの表記がない。子どもを連れて行っても読めない、分からないというのが第一声。ぜひ、書庫にひらがな表記を導入していただきたい。

委員：盗難が子どものまわりであった。高校生が財布を盗られた。直接聞いた話と、また聞きで他にも同じ場所で盗られたという報告を耳にしている。場所は、一階の文化会館側でイベントなどが行われているスペース。イベントが行われていない時間帯に同じところで同じ状況で夢中になって何かを読んでいた時に鞆から盗られたと聞く。同じ場所で起きているので、監視を強化してもらいたい。別の話になるが、プラネタリウムの活用法について、キッズスペースでイベントが開催されるため、キッズがいない私は場違いで利用しにくく感じている。テレビを見ていると実際今年は水族館のプラネタリウムなど「おとなのプラネタリウム」が流行っているということ。海老名にはプラネタリウムができる場所がせっかくあるのに、あのスペースには大人が入りにくいかなというのがあって、海老名では「おとなのプラネタリウム」は無しなのかなと思っている。「おとなのプラネタリウム」が都内では2件オープンしているので、えびなでも今後お願いしたいかなと思っている。次に、少子化に伴い大学や専門学校がつぶれたりしている中、人数を増やすために大学で学部が専門に特化される流れがある。特に心理学部と体育政策やスポーツ健康に関する学部が学生の興味関心を特に多く得ているのか、進路の希望先が心理学科と体育学科と初等教育学科に集中しているということ、高校の進路指導部の人から聞いた。市の図書館は栄養学や料理系については利用しやすいし本がたくさんあるが、心理学やスポーツ関連の書籍が少ない。そこを改善していただくと、学生は利用しやすいのかなと思う。学習スペースの件ですが、私は利用時テラスを利用することが多い。これからは寒くなるので、オープンテラス全部にビニールをかけるなど、寒さ対策をしてもらえるといいと思う。

指定管理者：ビニールで囲う件は難しい。

委員：学習室が足りない件で、実際私も図書館に並んでいる姿、席を取り合っている姿を見るが、他の公共施設たとえばコミュニティセンターと文化センターが市内に均等に12館あり、それらにすべて学習室が備えられており、私が見ると15人位入る部屋に子ども1人とかおじさん

1人とか。スペース的には学習する環境というのは地域に個々にある。それだけ図書館が魅力的なのかもしれないが、市全体で見た時には、そういう資源を活用する意味でコミュニティセンターの利用を学生さんに周知をすとか、そういう努力を合わせてやらないと限界があるかなという気がしている。

委員：ウェブサイトのマイページについて、貸出履歴と次に借りたい本を登録できる機能を付けてほしい。現在、予約機能で代用しているので若干の不便さを感じているという声を聞いている。もう一つは、厚木駅にも返却ボックスを設置してほしい。図書館に近くないところにお住いの方で、厚木駅を使っている方で、厚木駅にあるととても助かるということ。もう一つは、カフェスペース。1階の椅子席なども、図書館の本の閲覧スペースとして設けてほしいという声。

指定管理者：カフェ席については、スタバを使っている方も本は持って行って読んでいただける。使い方のことをご案内させていただければと思う。

委員：コーヒーを買わなくても使わせてほしい。

指定管理者：そのことは持ち帰りたい。また、ウェブサイトの履歴については、セキュリティの問題があるため、要望として受け取っておく。

②有馬図書館について 指定管理者より説明

委員：生涯学習の「はじめのいっぽ」が本であると考えている。学校支援事業の中で話をさせていただくと、図書支援員さんたちが来られて環境がとても良くなった。レイアウト、本が探しやすくなったこと、支援員さんにやっていただいている「図書便り」、季節に合った図書館の中のレイアウト、4月の初めには図書館の使い方を児童に指導して頂いている。非常にありがたいと思っている。子どもが本で迷っているときには、目線等を考えながら、「何を探しているの？」と声掛けを行うなど、子供への対応に高い技術をもった支援員さんに来ていただいている。今年から新聞が入っているが、新聞と4年生の国語の単元との連携をしてもらおうなど、教員と支援員との密接な関係もできている。要望としては、ぜひ毎日常駐でということをお願いしたい。保護者からもきれいになったね、繊細なレイアウトだなという感想をいただいたりしていて、ありがたいなと思っている。もう一つは、海老名には読み聞かせボランティアさんがいる。とてもやる気がある方たちなので、情報交換になったりするので、研修会をやっていただけると、100人近く集まるのかなと思う。

指定管理者：図書ボランティアへの講習会や研修については、学校経由でご相談いただいて各学校へ出向く若しくは、図書館で講座ということもできると思う。学校で連携をとっていただければ可能。

委員：東柏ヶ谷小の市民図書室は、非常にありがたいと思っている。土日が開館日となりサービスの向上で利用人数も増えている。高齢の方が多く

中央図書館になかなか行けない地域。市民図書室はなかなか良い部屋なので、もっと広報をした方がいい。「広報えびな」に掲載するのではなく、ポスティングしたり、学校もポスターを張ったりして、利用を増やしたらいいのではないか。南部と中央と北部で、本に親しませる環境づくりをしていただけたらありがたい。

中央図書館の4階に行ったが、キッズスペースは良い。孫をつれていくが、フロアの方が親切、靴を脱いで入れる、広くて丸くなっていてやわらかい雰囲気、ゆったりしてして良いスペースだと思う。乳幼児専用のエレベーターがあっけきちっと管理されていて、サービスの向上を感じる。

要望は2つで、支援員の常置、読み聞かせボランティアさんの研修。

指定管理者：学校には毎日常駐を目指して検討したい。ボランティアへの研修や選書方法についての説明会は、学校と相談する。

委員：支援員さんがきている日に時間割が当たっているクラスしか支援員さんは対応できない。毎日きていただけると、いつでも本の貸し出し等対応してもらえるのでぜひお願いしたい。

委員：有馬図書館に門沢橋小学校の児童が授業時間にくることはあるのか。

指定管理者：ある。授業でも有馬図書館を使っていたらいい。

委員：それはとてもは良いと思う。

③全体を通して

委員：貸し出した本は必ず返ってきているのか。

指定管理者：期間内に返ってこないこともあるが、それに対しては電話や葉書で連絡を取り回収している。

委員：回収率はどれ位か。

指定管理者：借りたまま転居されている人もなかにはいるため、100%ではないが、毎年の蔵書点検でも不明図書はさほど多くない。

委員：いつも同じ人ということはないのか。

指定管理者：そういう人もいる。「早く返してください」というご案内はしている。

委員：そういった人に対しては貸し出さないなど何か対応しているのか。

指定管理者：そういう方には返却いただかないと一定期間貸し出しをしないという対応をしている。何回延滞したので貸し出さない、という対応は現状では行っていない。

委員：読みたい本をリクエストする場所があると思うが、それに対する執行率、どれ位の割合で汲んでもらえるのか。

指定管理者：選書に関しては割合という形でうけてはいない。海老名市で定めている選書基準に基づいて選書しているため、予算の範囲内で、リクエストが選書基準に合致していれば検討している。どうしても必要な本があるときは、後回しになってしまっても他市から、借りることもある。

委員：選書基準を満たしていれば、年に何回もリクエストを出すと通ることも

あるのか。

指定管理者：タイミングによってはあるかもしれないが、予算と選書基準で行っているので必ずではない。

委員：中央図書館に比べて有馬図書館は、イベントへの参加者が少ないと思うのだがどうなのか。

指定管理者：駐車場およびイベントスペースの関係で30人位が限度。

委員：市民が有志で学びの場を作る場合、図書館を開放する余地はあるか。

指定管理者：内容によるが、ビブリオバトルが開催した例として挙げられる。5年プランというものがあり、1年目は指定管理者がイベントを立ち上げ積極的に行い、2年目にそのイベントが認知され定着化して、3年目からは市民の方からイベントに協力する人がでてくる、というようなステップを踏めると良いと、当初から考えている。ボランティアの募集を行っているため、そういった方が企画の声を上げてくれるようになることもあるのではないかと。

委員：指定管理者になって感じたことは、接客関係の研修を行っているだけあり、それが徹底されているということ。分からないときに聞くと丁寧に教えてくれる。環境も館内だけでなく外の事にも気配りされているようで、職員が朝ゴミ拾いを行うなど、環境整備に努められている。中央図書館でも三館フェスタをやって、コミュニケーションをとっていると感じているし、授乳室とかおむつを替える場所も整備されているので、幼児やお母様方が参加しやすい環境がすごく大切だと思う。

委員：年間を通して様々なイベントをされていて、より良いものをと考えておられる。若い子育て世代のお母さん方も参加しやすいよう、イベントを企画して、そのイベントを通して親子で本好きになるようより良くしていただきたい。